

市職員全員の認知症サポーター取得を目指しています

「認知症サポーターは「オレンジリング」が目印です」

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一環として、市職員が認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守ることができるよう「認知症サポーター養成講座」を、全職員を対象に実施しています。

この講座は平成21年度から実施しており、これまでに478人が受講し、「認知症サポーター」になっています。今後も全職員が認知症サポーターになることを目指し、講座を実施していきます。



全職員が認知症サポーターになることを目指して、取り組んでいます！

また、市内小中学生を対象とした小中学生向け認知症サポーター養成講座や、高校生を対象に授業の中で認知症サポーター養成講座も実施しています。
地域みんなで温かく見守る体制を整えていきます。

認知症サポーターとは

「認知症サポーター養成講座」を受けた方が「認知症サポーター」となります。
認知症サポーターには、特別に何かをやってもらうものではなくありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者になってもらいます。

その上で、自分のできる範囲で活動してください。例えば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった方や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関など、まちで働く人として、できる範囲で手助けをするなど活動内容は人それぞれです。

「認知症サポーター養成出前講座」を実施しています

平成29年2月末現在、佐渡市の認知症サポーター数は、6,041人です。引き続き、多くの方にサポーターになっていただきたく、自治会やPTA、事業所などを対象とした認知症サポーター養成出前講座の受講者を随時募集しています。

講座の時間は、60分から90分程度で、費用は無料です。講座を受講された方には、認知症サポーターの証「オレンジリング」を配布します。

どなたでも受講できますので、お気軽にお問い合わせください。

※認知症サポーター養成講座を受講した事業所などに「認知症サポーターステッカー」と「ロバ隊長ぬいぐるみ」を交付しています。



認知症サポーターステッカー

お問い合わせ

市役所高齢福祉課 高齢福祉係
☎ 63-3790

シートベルト・チャイルドシート 着用強調月間

期間 3月1日(水)～3月31日(金)

スローガン

抱っこより深い愛情

チャイルドシート

○車に乗ったらシートベルト！
すべての座席で締めましょう！

県内では、昨年の交通事故時にシートベルトを着用しなかった人の致死率は、着用した人の約12倍となっています。

交通事故の被害軽減のため、すべての座席で必ずシートベルトを着用しましょう。

○子供の命を守るためチャイルドシートを使用しましょう！

チャイルドシートを使用しないと、衝突時にフロントガラスや座席に体をぶつけたり、車外に放り出されたりする危険性が高まります。大切な子供の命を守るためにチャイルドシートの着用を徹底しましょう。

お問い合わせ

市役所総務課防災危機管理室
危機管理係 ☎ 63-3111
佐渡西警察署 ☎ 74-0110
佐渡東警察署 ☎ 27-0110